

2013年度 第2回 農村計画本委員会 議事録

開催日：2013年8月31日（土）12:00～13:30

場 所：北海道大学 札幌キャンパス 高等教育推進機構2階 演習室(1)N231

出席者：委員長：岡田知子 (敬称略)

幹 事：神吉紀世子、北澤大佑（文責）

委 員：岩田俊二、大沼正寛、川嶋雅章、熊野稔、後藤隆太郎、齋尾直子、齋藤雪彦、佐藤栄治、重村力、篠部裕、清水肇、鈴木孝男、山崎寿一、山崎義人

オブザーバー：柴田加奈子、三笠友洋、三橋伸夫

I. 確認事項

1. 前回本委員会（7月15日）議事録の確認
 - ・ 前回議事録を確認した。

II. 報告事項

1. 2013年度技術部門設計競技「次世代に継ぐ住宅の再建計画－東日本大震災からの復興」入選結果（農村計画委員会主催）
 - ・ 審査対象数16題で審査を行い7作品（最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作4作品）を選出し、大会期間中の9月1日に表彰式が行われる。

III. 審議事項

1. 2014年度大会研究集会企画提出依頼
 - ・ 2014年度は神戸大学で開催、研究協議会については集落居住小委員会の企画を行う。
 - ・ PDについては農山漁村文化的景観の企画で行うこととする。
2. 推薦依頼関係
 - (1) 2014年日本建築学会大賞候補業績
 - ・ 荻原先生を推薦する方向で検討し、岩田先生から打診を行う。
 - (2) 2014年日本建築学会文化賞候補業績
 - ・ 安心院グリーンツーリズム研究会（宮田会長）を推薦する方向で検討し、九州支部にも共同推薦の打診を行う。
 - (3) 2014年日本建築学会教育賞(教育業績)候補業績
 - ・ ワークショップ関連業績により木下勇君を推薦する方向で検討し、本人に打診を行う。
3. 本委員会関係
 - (1) 催し物実施報告
 - ①研究会「むらを住み継ぐカタチ#02：徳島県三好市－地域の多様な住み継ぎ方を考

える」

- ・ 6月29日に徳島県三好市で上山町大南さんをゲストに開催、30名程度の参加を得た。

②2013年度農村計画委員会春季学術研究会「農山漁村を動かす人々、地域組織のこれから」

- ・ 7月15日に農山村地域組織形成小委員会が幹事となり開催、23名程度の参加を得た。

(2) 催し物実施計画：研究交流会「チベットの建築文化」

- ・ 中国建築学会（徐宗威副理事長）から岡田委員長に日中学術交流の打診があり、農村計画本委員会として民間の助成も活用し開催する（12月16日を予定）。
- ・ なお、建築計画の比較居住文化小委員会にも共催を依頼している。

(3) 小委員会活動報告

①国土計画小委員会

- ・ 5月に国土政策局国土管理政策室室長を招集し、内部で勉強会を開催した。
- ・ 今後は、研究助成応募の企画案作成を検討する。

②集落居住小委員会

- ・ 年内にもう一度「ムラを住み継ぐカタチ」開催する。
- ・ 来年度に小委員会の大会研究集会の準備を始める。

③集落復興再生小委員会

- ・ 大会期間中に小委員会を開催し、次期の取組を検討する。

④農山漁村文化景観小委員会

- ・ 研究集会の企画について、海外からシンポジウム等のパネリスト（中堅研究者）を招聘する案も挙げられている。
- ・ 3月に遠野でフィールドスクール開催という案があり、2014年度大会の研究集会の企画と連動し、海外パネリストの招聘も検討している。

⑤農山村地域組織形成小委員会

- ・ 大会期間中9月1日に小委員会を開催し、研究のとりまとめ、次期の検討を行う。

4. 『東日本大震災合同調査報告書』進捗状況について

- ・ 10月20日に第1次原稿を締め切る（執筆者には通知済み）。

5. その他

①日韓交流について

- ・ 韓国ソウル近郊のラーバンデザイン（スプロール問題）をテーマに10月25、26、27日あたりの開催を行う方向で韓国側に打診する。

②小委員会改組について

- ・ 10月か11月に本委員会を開催し、次期小委員会の改組を協議し決定する。
- ・ 次回本委員会での円滑な協議を図るために、広く委員会から意見を募ることとする。

る（方法は委員長・幹事で検討する）。

③2014年度春季学術研究会

- ・ 集落居住小委員会で、企画が可能か検討する。

④次回委員会

- ・ 10月から11月に開催し、小委員会の改組について協議を行う。

以上